第40回

月窓寺

吉祥寺薪能

能

土蜘蛛（つちぐも） **さゝ蟹**（ささがに）

観世 喜正

狂言

呂蓮（ろれん）

野村 万作

野村 萬斎

観世 喜正

野村 万作

野村 萬斎

令和八年 十月九日（金）

午後五時十五分開演（四時三十分開場）

ところ■吉祥寺 月窓寺境内

雨天■武蔵野市民文化会館にて蝋燭能（ろうそくのう）

前売券のお求め〈全席指定〉

A席 5,000円／B席 3,500円

お電話での予約はできません

8月20日（木）午前9時30分より

武蔵野市観光機構

商工会館1階

☎0422-23-5900

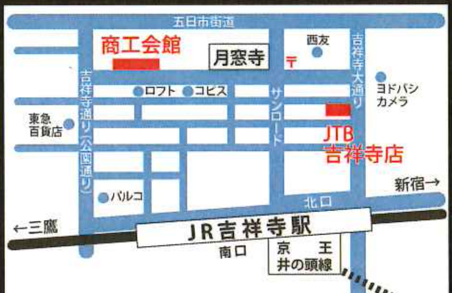
受付時間：９時３０分～１７時３０分

8月20日（木）午前１０時より

JTB 吉祥寺店

☎0422-35-8483

受付時間：１０時～１７時３０分


五日市街道
商工会館
月窓寺
西友
吉祥寺大通り
ヨドバシカメラ
ロフト
コピス
サンロード
東急百貨店
吉祥寺通り（公園通り）
JTB吉祥寺店
新宿→
パルコ
北口
←三鷹
JR吉祥寺駅
南口
京王井の頭線

主催■吉祥寺薪能実行委員会

後援■武蔵野市／一般財団法人武蔵野市開発公社

第40回
月窓寺

吉祥寺薪能

令和八年十月九日(金)　午後五時十五分開演（午後四時三十分開場）

大会長挨拶　吉祥寺薪能実行委員会大会長　稲垣　英夫
市長挨拶　武蔵野市長　小美濃安弘

―番組―

狂言解説　中村　修一

火入の儀

狂言　呂蓮

僧　野村　万作
宿主　野村　萬斎
妻　高野　和憲
後見　岡　聡史

―休憩　十五分―

能解説　横浜能楽堂芸術監督　中村　雅之

能　土蜘蛛　さゝ蟹

従者　金子仁智翔
胡蝶　佐久間二郎
源頼光　奥川　恒治
怪僧 土蜘蛛　観世　喜正
独武者　舘田　善博
従者　則久　英志
〃　渡部　葵
蟹ノ精　内藤　連
〃　飯田　豪
後見　永島　充
遠藤　和久

大鼓　柿原　弘和
小鼓　田邊　恭資
太鼓　林　雄一郎
笛　一噌　隆之

地謡　奥川　恒成　小島　英明
桑田　貴志　中所　宜夫
長山　耕三　鈴木　啓吾

（終了予定　午後七時三十分頃）

演目の御案内

狂言　呂蓮（ろれん）

一夜の宿を借りた旅の僧が、宿主から説法を求められて語ってきかせます。すっかり感銘を受けた宿主は、自分も出家したいと申し出ます。たしなめる僧に、宿主は身内の者には了解をとってあるからと説得し、僧に髪を剃ってもらい、法名を授けてもらいます。そこへ宿主の妻がやってきて・・・

能　土蜘蛛　さゝ蟹（つちぐも　ささがに）

健康がすぐれぬ源頼光（みなもとのらいこう）の寝室を、侍女の胡蝶が薬を持って見舞います。胡蝶が帰った後、いつ現れたのか一人の怪僧がたたずんでいました。僧は呪いと共に蜘蛛の本性を現しますが、頼光が太刀で斬りつけると、たちまちその姿はかき消えてしまいます。

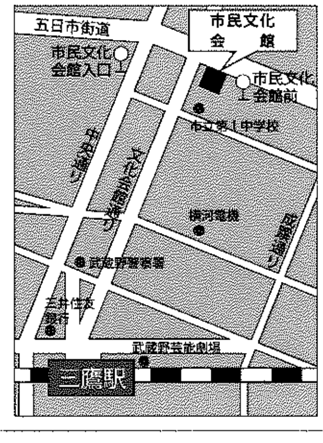
駆けつけた警護の独武者（ひとりむしゃ）に頼光は事の一部始終を語ります。あたりには傷ついた化生の物の血が流れていたので、跡をたどり、退治に向かうことになりました。独武者と家来は血をたよりに蜘蛛の住む古塚を見つけ、力を合わせて見事、退治となります。

「ささ蟹」という小書き（特殊演出）により、カニの姿の間狂言が現れる場面も見どころ。

●雨天の際は、武蔵野市民文化会館にて行います。
●演者は都合により、断りなく変更することがあります。
●開演中の写真撮影及び録音は一切禁止いたします。
●会場には、駐車場がありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。
●寺院境内につき、誘導員の指示によってご入場、ご退場ください。その他、係員の指示に従って頂きます。

会場案内図

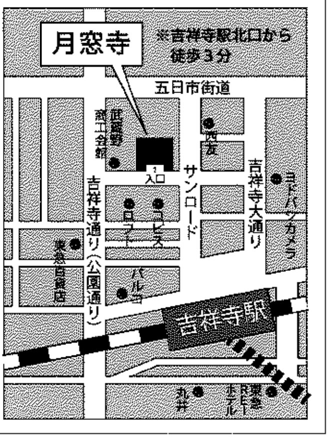
雨天会場


五日市街道
市民文化会館
市民文化会館入口
市民文化会館前
市立第1中学校
中央通り
文化会館通り
横河電機
武蔵通り
武蔵野警察署
三井住友銀行
武蔵野芸能劇場
三鷹駅

吉祥寺駅北口から
●バス
1番線　向台町五丁目、桜堤団地、関前西公園行
2番線　電通裏、武蔵野営業所、柳沢駅行
※市民文化会館前　下車

三鷹駅北口から
●徒歩　13分
●バス
1番線　北裏、武蔵野営業所、武蔵関駅、田無橋場行
2番線　柳沢駅、東伏見駅北口行
4番線　武蔵境駅、緑町二丁目、武蔵小金井駅行
5番線　電通裏行
6番線　天神山行
※市民文化会館入口下車徒歩2分

本会場


月窓寺
※吉祥寺駅北口から徒歩3分
五日市街道
武蔵野商工会館
入口
西友
サンロード
吉祥寺大通り
ヨドバシカメラ
ロフト
コピス
東急百貨店
吉祥寺通り（公園通り）
パルコ
吉祥寺駅
丸井
東急REIホテル